

建設事務の業務について



川田建設株式会社
事業企画部

堀内 美希

仕事について

現在、私は事業企画部という部署で、支店から送付される各種工事関係の書類や社員の資格情報の管理、指名願（入札参加資格審査申請書）や経営事項審査の書類作成などのルーティンワーク中心の仕事をしています。安全品質環境部の雑務も行っており、社内で発生した災害や事故などの不具合書類の管理や支店および現場で使用するポスター等の在庫管理と商品の発注、安全総会での報告書類の作成および準備など、事務全般に日々勤しんでいます。

職場について

私の働いている職場のフロアには他部署を含め20名ほどの社員がおり、数分程度の短い時間ですが、毎日ローテーションで「業務に関すること」をテーマとしてフロア内の社員で朝礼を行っています。朝礼担当の順番が回ってくるたびに話す内容を捻出し

ていますが、言葉にすることで改めて気を引き締めることができるようになりまし。自身が現在取り組んでいる業務について話すことで、心構えや気持ちを取りセットして業務へ取り組めるきっかけにもなり、また他部署がどんな業務を行っているのか、現場での体験談や仕事に対する考えなど、普段はお話する機会が少ない部署の方々のお話を聞くことができるため、いつも興味深く耳を傾けています。他部署との交流は暑気払いや忘年会、社員旅行などでも機会があり、今年も静岡で三島スカイウォークなどを観光しました。

現場パトロールで学んだこと

新入社員研修以降は現場へ行くことがなかったのですが、平成28年11月～12月に「女子パトロール」として複数の現場をパトロールする機会がありました。私自身に工事に関する技術的な知識はないため、実際に現場を見回り、指導票に書けるような指摘を見つけられるのかとパトロールのお話を聞いたときにはたいへん不安でしたが、パトロールへ行く前に上司の方々に現場へ赴く際の注意事項などの基本的なことや、技術的な知識がないなりにどういったところを注意して見たらいいかなどをご指導いただ

き、パトロール当日はそのことを念頭に置きつつ現場を回りました。

現場では足場の悪い場所の階段や土のぬかるみなど、歩き慣れている作業員の方々は軽々と進んでいましたが、普段そのような場所を歩くことがない私は、常に足元に気をつけながら歩かなければ転びそうでした。毎日慣れた足取りで会社へ向かっています。通勤ラッシュの混雑した駅の階段や改札口など、現場ではなくとも災害を招く場所は身近にたくさんあります。普段の業務においても同じで、慣れていることだとしても、油断からミスを引き起こさないよう注意しようと思えました。

私はパトロールをする少しの時間しか現場には滞在しませんが、それでも冬の東北地方の現場ということで風がとて冷たく、現場で働く方々は毎日この環境の中でお仕事をされています。長い時間をかけて施工し橋が完成して、道路が整い、私たちの生活が便利になっていくことを目の当たりにしました。

私の現在の仕事内容は、現場の方とやりとりをするような直接的に関わることは少ないです。しかし現場の方々がいてこそこの会社で仕事をしているので、自分が今携わっている業務をしっかりと熟し、現場や支店の方のサポートをしていきたいと思っています。



▲ 女子現場パトロール



▲ 女子現場パトロール現場全景



▲ 社員旅行

#005 仕事場拝見

現場の魅力



株式会社ピーエス三菱 東京建築支店
PC建築部PC工事グループ

上杉 一二三

はじめに

私がPC技術を知ったのは大学生のときでした。RC造では実現できないような意匠性の高さや大空間を創造できるといったPC技術に興味を持ち、PC技術の研究をしている研究室に入りました。そして、この技術でしかできないことがあるのなら、ぜひ学んだことを生かせる職に就きたいと思い、ピーエス三菱に入社しました。

入社後6カ月間は現場・工場・研修所などでの集合研修があり、そして10月に東京建築支店PC建築部PC工事グループに本配属となりました。

はじめての現場

私ははじめて担当した現場は、埼玉県川口市の高等学校の新築工事でした。PC工事専門業者として、ST

床版・PC柱の架設工事とアンボンドスラブの配線工事の施工管理に携わりました。主な業務内容は日々の品質管理、工場へのPCa部材の出荷依頼、資機材の発注、現場で元請・他業種との工程打ち合わせでした。日々、めまぐるしいスピードで進んでいく現場に配属当初は何をすればいいのかもわからず、不安でいっぱいでした。職人の技術力に圧倒され、質問されても答えられない自分にやるせない気持ちでいっぱいでした。

しかし、なんとか喰らいついていく中で、少しずつ「次はこうしなくちゃいけない」とか「こうしたらどうだろうか」、「ああやってみたらよさそうだ」と自分で考えられるようになりました。それを上司や職人に相談すると「そんなことは当たり前だ」と言われることもありましたが、「わかるようになってきたな」、「お、いいね。それでやってみよう」と賛同してくれることもありました。自分の考えが職人の助けになり、施工がうまくいったときにとてもやりがいを感じました。

数多くの現場で

次に担当した現場は、現場でのPC鋼材の配線工事でした。前回の現場とは違い、配線工事はPC工事

があるときだけ現場に行って作業をしますので、都内から地方まで数多くの現場に携わることができ、行ったことのない土地に行けることも楽しみのひとつでした。現場配線工事をしていて感じたことは、現場にスポットで行くため、現場の状況がわかりにくく、施工打ち合わせや工程の調整が難しいということです。しかし、多くの現場を経験していくうちに何を伝えなければいけないかが少しずつわかってきて、日々の成長を実感できる機会でもありました。また、中には誰もが知っている有名なプロジェクト工事にも携わることができるようになりました。

最後に

入社して3年になります。その中では失敗や苦労など苦い思いもたくさんしてきましたが、それ以上に、施工を無事に終えられたときの達成感や職人さんに少しずつ認めてもらえるようになったときの充実感のほろがはるかに大きい3年間でした。また、携わった現場を同期や家族に話したときに「そんな有名な現場に携われるなんてすごいね」と言ってもらえることが何よりも嬉しく、これからも胸を張ってみんなに誇れるような仕事をしていきたいです。



▲変わった形状の底部材



▲床版の架設状況



▲プレキャスト部材の設置位置を確認中

PC橋梁(コンポ橋)の紹介



株式会社安部日鋼工業
中部支店工事部工事課

富松 勇介

はじめに

私は入社後、橋梁の新設工事や補修工事に携わってきました。子どもの頃は橋に対して何とも思っていま

せんでしたが、今では生活に欠かせないものだと感じています。一般の方から見ると橋として一括りにされがちですが、橋梁にもさまざまな種類があります。少しでも橋梁や、工事現場のことを知っていただけたらと思います、現在施工を行っているものを簡単に紹介したいと思います。

現在の仕事

現在は岐阜県の神戸町という場所でPC橋梁の新設工事に従事しています。構造形式は5径間連結コンポ橋です。コンポ橋は橋を構成する主桁やPC板を工場で作成します。ひとつの桁を5ブロックに分割し、トレーラー

で現場に搬入します。軌条の上で接合し、PCケーブルを挿入して緊張することで1本の桁になります。緊張時にPCケーブルに加える力はケーブル1本あたり約100tで、この力により橋を支えています。主桁の組立が完了したら大型クレーンにより桁を架設します。本現場では300tと400tのクレーンにて架設を行いました。架設完了後、工場で作成したPC板を桁間に敷設し床版コンクリートを打設します。以上のような工程で製品を組み合わせてひとつの橋に作り上げるため、英語で合成を意味する「Composite」からコンポ橋と呼ばれています。現在施工を行っている東海環状自動車道においてはコンポ橋が多く採用されています。

東海環状自動車道とは

東海環状自動車道とは愛知県、岐阜県、三重県を環状に連結し、各高速道路と一体となつて、広域的なネットワークを形成する、総延長160kmの高



速道路です。この高速道路は、三県の頭文字を組み合わせて通称MAG ROADと呼ばれ、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保を目的として建設されています。今現在、早期の開通を目指し、岐阜の関市から三重県の四日市市にかけて多くの施工会社が工事を進めています。

完全週休2日制

本現場では、完全週休2日制の試行工事として土日、祝日は完全閉所となっております。建設業といえれば休日に関係なく働いているイメージがありますが、少しずつ働きやすい環境になってきていますし、以前に比べプライベートも充実してきていると実感しています。最近では若手技術者が減少していると言われていたのですが、今後、回復していくことを期待したいです。

入社後いろいろな橋梁の施工に携わり、勉強してきました。その中で橋梁の必要性も実感しました。現状に満足せず精進し、より良い橋を造り、社会に貢献していきたいです。



▲ 東海環状下宮第4高架橋全景



▲ 大型クレーンによる架設



▲ 主桁組立完了



▲ セグメント桁搬入